

中央・新旭川まちづくり推進協議会 会議録 令和7年度第1回

会議概要	
日時	令和7年6月3日(火曜日) 午後6時30分から午後8時まで
場所	旭川市役所 7階 大会議室 B
出席者	委員（13名、正副会長以外は50音順） 山田会長、中村副会長、伊藤委員、上野委員、大西委員、菊地委員、工藤委員、佐藤（朋）委員、素野委員、薦川委員、十川委員、福原委員、山岡委員 （欠席者 今井委員、大久保委員、久住呂委員、佐藤（信）委員、佐藤（日）委員、高木委員、長谷川委員） オブザーバー 旭川市地域まると支援員 正木支援員、佐藤支援員 事務局等 地域活動推進課 佐々木次長、阿部主査 中央公民館 住吉館長 新旭川公民館 土橋館長
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 中央・新旭川まちづくり推進協議会委員名簿
	資料2 中央・新旭川まちづくり推進プログラム
	資料3 令和6年度 中央・新旭川まちづくり推進協議会の事業実施状況一覧
	資料4 令和7年度地域で使える補助制度～地域まちづくり推進事業補助金～

（補足）「中央・新旭川まちづくり推進協議会」を以下「協議会」という。

議事の内容

1 開会

出席委員の確認、オブザーバー出席者の紹介を行った。

2 中央・新旭川地域のまちづくりの検討と推進について

(1) 中央・新旭川まちづくり推進プログラムの確定

前回の会議において中央・新旭川まちづくり推進プログラムを確定したが、新任の委員がいるため、改めて内容の説明と確認をした。

(2) 中央・新旭川の補助事業

ア 令和6年度事業

昨年度、実施した5事業について、資料3のとおり実施状況を確認した。

イ 令和7年度事業

今年度、活動を予定している6事業について、資料4のとおりを説明した。

(3) 意見交換『地域の防犯』について

意見交換における主な内容は次のとおり。

- ・今年から、啓発の意味も込めて、自転車でパトロールをしながら知新小学校の児童の下校時の見守りをするようになった。ただ、そのための会議をする場所がなく、出席してくれる人が少ない。役員の高齢化が進み、家から出ない人が増えているため、外に出てもらう機会を作るという意味も含めて、年に2回実施しようということになった。役員は8人いて、実際にパトロールしてくれるのは4人ぐらいの見込み。
- ・例年、夏休みの時期に公園等のパトロールをしている。また、地域にある2つの交番と連携しており、毎月、防犯についてのリーフレットが配布されている。
- ・日頃集まる機会がないため、夏祭りや地域食堂などのイベントを開催するよう心掛けている。消防にお願いして、消防訓練や防災訓練を実施してもらったこともある。なんとか楽しそうな機会を作って、大人から子供まで集まるような企画をしている。それを繰り返すことにより、顔なじみが増えて挨拶ができるようになる。地域づくりを長くやっているが、まちづくりをやっていくにあたって挨拶が重要だという考えになった。単純なことだが、挨拶することによって連携が生まれる。また、不審者にとっては挨拶されることが嫌なことであるため、挨拶が頻繁に交わされる地域は不審者が避けると聞いたことがある。他人に無関心ではなく、日頃からなんとなく会話できる関係性を作っていけば防犯にもつながると思っている。その

ため、なるべくみんなで集まってわいわいやっていることが、どこかで効果を生んでいるかもしれない。

- ・ 2年前までは青パト6台で各役員が地域を回っていたが、役員の高齢化が進んだため止めることになった。青パトは事前に申請をして許可をもらわないとならないため、多少の手間がかかるが、それなりの効果はあると思われるため、また活動したいとも思っている。再開するには新たな協力者が必要であり、やればいいなという段階である。現在は、老人クラブや交通部を中心に、交通量の多い交差点に立って、子供達の見守りをしている。
- ・ 青パトについてはすごく良い活動だと思うが、もし事故が起きたときに誰が責任を取るのかという問題がある。車の借り上げや保険の加入について、個人なのか市民委員会なのか、もし、わかれば確認して次回の会議で教えてほしい。
- ・ 朝日地区で定期的にお年寄りを集めてお茶会をしているのだが、そこに警察官に来てもらい、オレオレ詐欺の話などをしてもらった。直接交番にお願いに行ったら快諾してくれた。これから年に1回は来てもらって話を聞かせてもらおうと思う。また、年に一度、公園に集まり町内一斉清掃をする際には、消防に依頼して消防訓練をしてもらう。最初から消防訓練だけをするとなると人が集まってくれないので、他のイベントと一緒に開催することで参加者を増やしている。
- ・ 防犯について言えば、知り合いの電話番号は全て登録しているため、知らない電話番号から着信があったときは出ないようにしている。
- ・ 特殊詐欺などのニュースをよく見かけるが、報道されていない案件もたくさんあるだろうから、実際にどれだけ世間で横行しているか把握できない。結局は自分のことは自分で守らないとならないと思う。
- ・ 冒頭に報告のあった自転車でのパトロールは良い取り組みだと思うが、10分ぐらいだけでは効果がない。最低でも1時間は見守らないとならないが、自身の地区に13ある公園を全部回るとなると、市民委員会や一部の人だけでそれをやるのは不可能に近い。そのため、市民委員会ではなく、公園のある町内会長に見守りをお願いしている。
- ・ 子供達が集まる近所の公園に、ミニスカートを履き、女装した男性が現れることがある。警察に相談したことがあるが、子供達に危害を加えるわけではないため罪にはならないと言われた。しかし、高校生が通報したところパトカー数台が様子を見に来て、けっこうな騒ぎとなったが、結局のところ罪には問われなかった。実際に公園にいるところを数回見たことがあるが、犯罪じゃないと線引きされた以上、注意することもできず、防犯とは難しいものだと実感した。
- ・ 20年以上前に現在住んでいるマンションに引っ越してきた。その地区の町内会への加入を断られたため、それ以来、マンションの住人はいまだに町内会に加入していない。マンションに管理組合はあるが、町内会とは機能が違うため、回覧板が回ってくることはない。自身は民生委員をしているため地域の情報を得ることができるが、やっていない人は地域との関りがなく何の情報も知らないと思う。

- ・町内会が解散して街路灯の電気代を払えなくなり、街路灯がついていない地域がある。
- ・転居してくる人でも、持ち家を購入して今後はその地域に住み続けるという人は町内会に加入してくれるが、転勤などで転入してくる人は数年しか住まないため加入してくれない。
- ・賃貸物件の管理会社から入居者に対して、町内会に加入することを勧めてくれるとありがたい。
- ・町内会はあくまで任意団体であるため強制はできない。
- ・町内会が力を落としていることは、まち協の委員ならみなひしひしと感じていると思う。
- ・町内会は互助組織であり、困った時に力になってくれるという歴史があったが、冠婚葬祭が町内会から離れたため存在意義がなくなったのではないかと。生活に困っている高齢者に対するボランティアができないか動いているところであるが、頼む方も大変だし、担う方をきちんと管理するのも大変で、双方を上手くマッチングさせる仕組みを作らないとならない。互助組織として原点に返った動きを何らかの形で検討し、町内会が地域に必要なという流れを作りたい。
- ・以前、町内会未加入者に対し、ゴミステーションの管理費と街路灯の電気代だけ払ってもらえないかお願いしたところ、市に税金を払っているから町内会に払う必要はないと回答されたことがある。若い世代ではそのように勘違いしている人が少なからずいるようである。小中学校での給食は義務教育だから払わないという保護者がいるのと同じで、何度説明しても理解してくれない。若い世代とのギャップが大きく理解し合えない部分があるし、この感覚の差を埋めることはできないため、打つ手がない。
- ・街路灯が消えていたら防犯が成り立たない地域になる。ゴミステーションと街路灯があることがどれだけありがたいことなのかを伝えて行く取組みがあってもよいのかなと思った。
- ・ここで具体的な答えを出すことは難しいが、各地域の取組を聞いて、取り入れられるものがあれば持ち帰って活用していただきたい。
- ・次回も「防犯」をテーマに話したいと思う。地域ごとの取組みなどを聞かせていただきたい。

3 その他

(1) 次回の協議会について

次回の協議会は、改めて日程を案内することとなった。

4 閉会